

第10回認知神経リハビリテーションセミナー（大阪）

テーマ 整形外科疾患に対する認知神経リハビリテーション

ー「運動器(骨・関節・筋・神経)への”まなざし”を転換する

開催概要 整形外科疾患に対する認知神経リハビリテーションの「理論→病態解釈→道具→訓練」について理解し、臨床実践のための基本手技を学ぶセミナーである。

特に、運動器(骨・関節・筋・神経)の病態運動学(pathological kinesiology)と機能回復神経学(restorative neurology)の考え方と、上下肢の整形外科疾患に対する認知神経リハビリテーションの臨床実践を具体的に紹介する。

現在、整形外科疾患に対するリハビリテーション(理学療法・作業療法)は要素還元主義的な関節可動域訓練や筋力増強訓練が主流である。一方、認知神経リハビリテーションでは「運動器の機能回復は運動学習であり、運動学習は脳の認知過程(知覚、注意、記憶、判断、言語)の再組織化によって生じる」と解釈する。

セラピストは、整形外科疾患のリハビリテーションにおいても、脳科学や認知科学の知見から動作分析を行い、患者の脳の認知過程に介入する訓練を適用することが求められる。そして、それは「運動器への”まなざし”の転換」を意味する。あるいは「整形外科疾患に対するリハビリテーションのパラダイム転換」を意味する。

本セミナーでは、症例検討やグループワークも行う予定である。可能な限り臨床的かつ具体的なセミナーにして、参加者と自由に真剣な論議をしたいと考えている。

日 程 平成28年6月5日(日)

会 場 大阪リハビリテーション専門学校(大阪市北区天満1-17-3)

プログラム

9:30～	受付開始	
10:00～11:00	運動器の病態運動学 ー整形外科疾患への”まなざし”	宮本
11:10～12:10	運動器の機能回復神経学 ー要素還元主義からの脱却	宮本
13:10～14:00	上肢の整形外科疾患に対する認知神経リハビリテーション	奥埜
14:10～15:00	下肢の整形外科疾患に対する認知神経リハビリテーション	奥埜
15:15～16:30	認知神経リハビリテーションの実技	講師、川見、内倉
16:40	終了予定	
18:00～	懇親会	